

青木村消防団広報

KODAMA

発行所/青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111
発行責任者/増田 宗由

No. 8

発行：平成21年9月1日

第46回 青木村消防ポンプ操法大会
第30回 青木村消防ラッパ吹奏大会

第一分団村松部
小型ポンプ操法の部4連覇



六月二十八日(日)青木村総合グラウンドで、村の消防ポンプ操法、ラッパ吹奏大会が行われました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【小型ポンプ操法の部】

- 優勝 第一分団村松部
- 準優勝 第四分団B
- 第三位 第一分団当郷部
- 第四位 第三分団A
- 第五位 第三分団B

- 第六位 第二分団
- 第七位 第四分団A

【技能賞】

- 第一分団当郷部 東郷琢磨
- 第一分団村松部 小林忠彦
- 第二分団入田沢部 内藤一仁
- 第三分団沓掛部 山浦栄二



【ラッパ吹奏団体の部】

- 優勝 第四分団B
- 準優勝 第四分団A
- 第三位 第一分団村松部B



- 第四位 第三分団
- 第五位 第一分団村松部A
- 第六位 第二分団
- 第七位 第一分団当郷部

【ラッパ吹奏個人の部】

- 優勝 第四分団青木部 西戸 隆司
- 準優勝 第四分団夫神部 清水 洋武
- 第三位 第三分団沓掛部 菅原 将仁
- 努力賞 第三分団入奈良本部 堀内 勉

村の大会の結果、自動車ポンプ操法の部は第四分団、小型ポンプ操法の部は、第一分団村松部、第四分団B、ラッパ吹奏団体の部は、選抜チーム、ラッパ吹奏個人の部は、

第四分団、西戸隆司君、清水洋武君が上小大会に出場することとなりました。

第51回 長野県消防ポンプ
操法大会上小地区大会
第32回 上消防ラッパ吹奏大会

七月十二日(日)長和町において、上小地区消防大会が開催されました。

青木村消防団代表チームは、ポンプ車操法の部で第四分団が第六位、小型ポンプ操法の部では、第一分団村松部が第五位、第四分団が十六位。ラッパ吹奏の部では、団体の部で青木村選抜チームが第五位、個人の部では、第四分団青木部の西戸隆司君と夫神部清水洋武君が共に第七位と素晴らしい成績を納めました。

消防団員だけでなく、村長をはじめ議会の方々、各地区の役員皆さん、多くの方々にご声援をいただきました。大変ありがとうございました。

青木村消防大会 ・ 上小消防大会を終えて



■第一分団 村松部
機械班長 沓掛 浩

今年度、村松部ポンプ班を指導する事になり、初めは何もわからず無我夢中で練習する日々でした。不安で何度も挫けそうになりましたが、そ



の度に励まし、支えてくれたのはポンプ班メンバーであり、分団長であり、村松部の仲間達でした。そんな仲間達と共に臨んだ大会では自分も含め、選手は心強く操法を行え、青木大会では優勝、上小大会では五位という結果を残す事が出来ました。これまでご指導ご声援を頂いた青木村消防団並びに村民の皆様、御礼申し上げます。
今後は地域の為に貢献できればと思います。

■第四分団 青木部
ポンプ班長 原田 隆志

四月、第四分団青木部の自動車ポンプは、青木、夫神の合同チームを結成して練習を始めました。これは初めての試みで、今後の活動に対する大きな一歩になったと思います。

大会に参加する事は、優秀な成績を目指す事はもちろん



ですが、それ以上に火災の際、冷静な判断と的確な行動で消火にあたるという重要な要素を含んでいます。指揮者として参加した今回の大会では、多くの事を学びました。共に歩んだ仲間、温かい支援とご協力をいただいた皆様、そして私を支えてくれた家族に対し、心から感謝致します。

■第四分団 青木部
ラッパ班 西戸 隆司

去る七月十二日、上小ポンプ操法、ラッパ吹奏大会が開催され、私はラッパ団体、個人に出場しました。入賞は逃



しましたが悔いのない吹奏でした。御声援、ありがとうございます。
ラッパ班は現在、二十人強で活動しています。団員減少



の中で、班員それぞれ朝に夜に練習に励みました。
上小のレベルが上がる今後、若い力に期待します。

青木村消防団の現状

消防団では、今後の消防団のあり方や、消防団の抱える問題点の改善策を考える、消防団機構改革検討委員会を設置し、定期的に話し合いを行う中で、今後の方向性を探っています。

平成二十年度より、消防団経験のある方に有事の際に出動をしていただく、消防団員協力員制度を設け、平成二十一年度には三十七名が任命されています。これにより、火災等の有事の際には一定の団員数は確保される一方で、純粋な消防団員は減少している現状にあります。

このため消防団では、各地区の役員の方々に協力をいただきながら、新入団員の勧誘を強化すると共に、各分団における活動と組織を見直す中で、少数でも充実した活動ができるように検討を進めてきています。
しかしながら、消防団内部だけで解決できる部分が限られており、今後はより一層村民の方々にご協力をいただければなりません。

平成21年度青木村消防団団員定数並びに団員数

平成21年4月1日現在

分団名	部 名	団員定数 A	団員 B	B - A	人 口	世 帯 数
本部 (本部役員・本部班)		20	18(2)	△2		
第 1 分団	当 郷 部	65	61(4)	△4	1,607	550
	村 松 部					
第 2 分団	入 田 沢 部	55	48(15)	△7	1,049	439
	南 田 沢 部					
第 3 分団	中 挟 部	45	48(5)	3	807	299
	下 奈 良 本 部					
第 4 分団	入 奈 良 本 部	65	65(11)	0	1,385	488
	沓 掛 神 部					
	査 夫 殿 青 部					
計		250	240(37)	△10	4,848	1,736
20年度		250	225(19)	△25	4,862	1,721
19年度		250	216	△34	4,946	1,721
18年度		250	218	△32	4,934	1,689
17年度		250	227	△23	4,955	1,678
16年度		250	244	△6	4,941	1,649
15年度		250	241	△9	4,962	1,633
14年度		290	243	△47	4,981	1,613
13年度		290	252	△38	5,017	1,606
12年度		290	254	△36	5,007	1,583

※()うち協力員数

分団運営の問題点

第三分団長 横澤 義治

分団統合五年目を迎え、各分団においては年々分団活動が盛んになり、地区を超えての連帯協力体制、機能強化が図られつつあります。
しかし、各部の伝統・考え方もありますが、運営に必要なら算も統一することが難しく、なかなか「分団」として

活動できない問題など課題も多くあります。
それらの課題の中でも、団員数の減少は難しい問題です。団員減少の要因は、団員の高齢化に伴い退団者が増加する一方で、若年人口の減少や消防団活動への理解が得られず、入団に消極的な方も見受けられます。消防団機構改革検討委員会の会議事項にも

新入団員の確保を検討課題として重視しており、各分団、各部において、考えを聞かせてもらいました。その中で、村全体の問題と考えると、各区の区長さんをはじめとし、区役員さんも勧誘に協力してもらい、自分達の村は自分で守る考えを伝えてもらい勧誘活動を進めていただきたいと思います。

我が分団でも、約十年後には団員数に対し班長職以上は

団員が半数を上回る恐れがあります。これ以上団員が増加する要因も無く、対策案として「一分団一班長制度」の検討も始まってきました。
そこでの検討時に運営予算編成をどのようにするかも議題に上がってきました。
今、第三分団では、分団での活動をしている場合(ポンプ操法・ラッパ吹奏大会出初式など)は各部より、年頭に団員数あたり何円という配分で会計担当へ入金し、不足金が発生した場合各部より徴収をし、年度末に残金があれば次年度へ繰越しております。
各部でそれぞれ区予算編成も違いがあり、区同士で話し合いが必要です。今、その話は少しずつですが、進めております。
その他にも各部の伝統行事などの出動要請はどの様に対応していくか？
など、消防団員だけでは解決できない問題も多々あります。

今年ですべて解決する事は無理ですが、少しでも後輩団員が、活動しやすい分団を築き上げて行きたいと思っております。今後とも村民の皆さんのご協力をお願いします。

新入団員から一言

■第一分団 村松部

石川 暁経



今年度から消防団の一員として参加しています。近年の生活事情の変化からか団員の確保が難しいと諸先輩からお聞きします。自分もまた勤め先が村外であるため、平日は緊急時に駆けつけづらい立場であります。しかしながら、消防団とは地域社会、住民の財産や人命を守る責任ある立派な仕事です。微力ではありますが、今できる力で団員と協力し村民の皆様の力になれるようにしたいです。

■第二分団 南田沢部

宮原 一昌

今年四月より、南田沢部に入団させて頂きました。消防については、「いざれ入るんだな」と考えていたぐらいで、全く知識のない自分でしたが、先日、大会に参加させて頂いた時、素直に「すごい」と感じました。

私の父親もやってきた様に、少しでも地域に貢献できればと、大会で感じた気持ちをお忘れずにこれから頑張っていきたいと思しますので、よろしくお願い致します。



消防団活動
カレンダー

四月一日

分団長打ち合わせ会

四月十日

第一回分団長会

四月十六日

警備・水利班長及びラップ班員会議、川西消防署による講話

四月下旬

各分団にて分団会議

五月一日

第二回分団長会

第一回消防団機構改革検討委員会

五月十七日

上小ポンプ操法伝達講習会

上小ラップ班会議

上小水防訓練並びにラップ吹奏講習会

青木村消防講習会

六月一日

第一回正副分団長会

六月二十八日

青木村消防ポンプ操法大会

青木村消防ラップ吹奏大会

七月三日

第三回分団長会議

七月十二日

長野県消防ポンプ操法大会

上小地区大会

上小消防ラップ吹奏大会

七月二十四日

第一回臨時分団長会

第二回消防団機構改革検討委員会

八月四日

第四回分団長会

(今後の予定)

九月六日

救急講習会

十月十一日

ヤンレいきやしよ運動会へ参加

十一月九日から十五日

秋の火災予防運動

十二月二十八日から三十日

年末夜警

一月十日

消防出初式



消防団員募集

消防団は、「自分たちの村は自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと、村民の生命財産を災害から守るべく活動をしています。消防団に入団いただき、ともにこの青木村を守り、さらに発展させるため、活動をして見ませんか？ぜひ一人でも多くの方に入団していただけることを期待しております。

お問い合わせ先

青木村役場

総務課 総務企画係

電話 49-0111(代)

有線 2024

広報ごだま編集委員

警備長	小林 隆
第一分団	増田 亮
第二分団	若林 広明
第三分団	増田 尚之
第四分団	若林 勝則
本部班長	塩澤 和宏